

刺し子の風呂敷と「つつみ」

「おうぼ」という言葉について考えている。

「おうぼ」を辞典を開いて調べるが、適当な解釈が見当たらない。

- 一、善悪の行いに応じて吉凶・禍福の報いをうけること、の仏教から来た、言葉。
- 二。往訪の、訪問の意味の、人を訪ねて行くこと。
- 三。応募、の募集に応ずる事。

福島の美しい「おうぼ」と言う言葉は、以上の意味だけではなく、もつと美しい意味が潜んでいたと思う。

檀家寺に差し上げる「秋つつみ」に似た、親しい人や家族に対しての、感謝の気持ちだが、この風呂敷や「つつみ」の中身とともに、充滿していに違いない。

そうでなければ、刺し子の風呂敷や、細長い美しい布を張り合わせて、こんなに、美しい入れ物が存在する筈がない。

私事であるが、母の実家の「おぼば」が、刺し子の風呂敷に入れて持ってきて呉れたものは、質素なものであったが心のこもったものであった。この写真を写しながら、極楽にいる祖母や母を偲んでいる。

これに包んで呉れる物は、どんなものより、嬉しい。

